

Glass Barrier Premium **G**

Super Premium Glass Coating

グラスバリア プレミアムG

グラスバリアシリーズ最高峰

「グラスバリア プレミアムG」は車の美しさを維持するためのすべてを兼ね備えたプレミアムコーティング剤です。

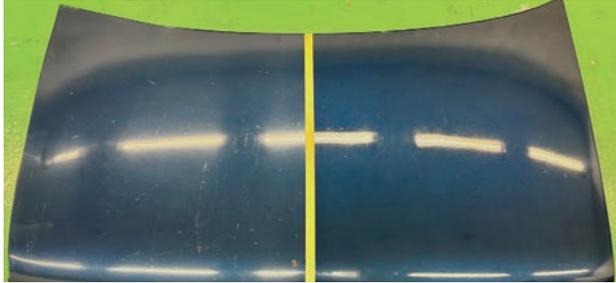
優れた光沢性・耐久性・防汚性を備えながら、今までにない簡易的な作業性も実現しました。ナノレベルによるシリカ結合によりすばやく塗装に浸透し強靱な被膜(硬度7H^{*})を形成します。トップ面には特殊フッ素被膜を形成し、セルフクリーニング効果により汚れから強力ガードします。

※自社試験による。



グラスバリア プレミアムG Glass Barrier Premium G

高光沢性



施工前

施工後

「グラスバリア プレミアムG」は高い艶感・光沢性を有していた。

厳選された高品質の低分子シロキサンが塗装面の凸凹をしっかりと埋め合わせることで、高いレベリング効果を発揮します。塗装本来の美しさを保ちつつ、重厚感のある上品な光沢と流れ落ちるような高撥水で最上級の仕上がりを実現しています。

使用方法(ドライ・ウェット兼用)

※作業をする際は保護眼鏡、ゴム製手袋、ゴム製保護衣を必ず着用してください。
 ※屋内(雨風の入らない環境)で施工してください。※湿度、気温によって硬化速度が変化しますので、確認しながら作業を行ってください。※施工後12時間は硬化のため、手を触れず、水がかからないようにしてください。※製品の特性上、沈殿物が発生しますが、品質には問題ありません。

【洗車～下地処理】

- ①カーシャンプーで洗車を行い、車の汚れを取り除いてください。
- ②水洗い洗浄後、ボディ表面を拭き上げてください。
- ③塗面の状態に合わせて、下地処理(鉄粉取り・研磨作業・脱脂)を行ってください。

【ドライ施工の場合】

- ①コーティング前にエアブローでボディに付着している水分を除去してください。
- ②柔らかいクロスもしくはスポンジに適量取り、ムラなく塗り伸ばしてください。
- ③水で固く絞った柔らかいクロスで水拭きを行った後、続けて乾いた柔らかいクロスでムラがでないように確認しながら拭き上げてください。

【ウェット施工の場合】

- ①洗車後の濡れたボディに柔らかいクロスもしくはスポンジに適量取り、ムラなく塗り伸ばしてください。
- ②上記の【ドライ施工③】と同様の作業を行ってください。

※「グラスバリア プレミアムG」塗布後は放置せず、すぐに拭き上げ作業に移ってください。放置時間には限度があり、環境(温度・湿度)によって異なります。夏場の高温時には、短時間で硬化しますのでご注意ください。ドライ施工・ウェット施工で硬化開始時間は変わりません。

コーティング剤硬化開始時間(目安)

冬季	梅雨・夏季	その他
35分	15分	20分

※放置時間が長いと拭き上げが難しく、白くムラになる場合があります。その場合は「グラスバリア プレミアムG」を再施工してください。

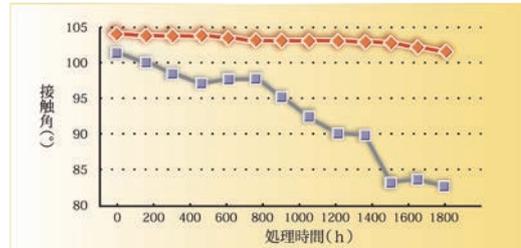
※硬化時間は12時間です。(季節や湿度等によって変動します。)

※硬化後の修正はできません。(コンパウンド、サンドペーパー等での削り落としが必要です。)

※メンテナンスには必ず「グラスバリアβ」を使用してください。

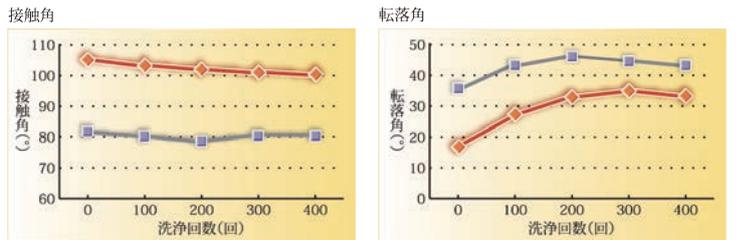
高耐久性

〈促進耐候性試験〉



促進耐候性試験機を用いて、キセノンアークランプの光を照射。150時間毎に接触角を測定した。「グラスバリア プレミアムG」は約1年相当の疎水性能を維持していた。(150時間=1ヵ月相当)

〈耐洗浄性試験〉



表面性試験機を用いて、弊社品 UC-ECO 2%で洗浄する工程を400回繰り返して、接触角・転落角の推移を測定した。「グラスバリア プレミアムG」は、未施工車よりも優れた滑水性を維持していた。

※接触角は数値が高いほど撥水性が高いことを示し、転落角は数値が低いほど滑水性が高いことを示す。

製品情報



〈1セット内容〉

- グラスバリア プレミアム G 15mL . . . 1本
- スポンジ 1個
- マイクロファイバークロス 1枚
- 施工マニュアル 1枚
- 施工済みステッカー 1枚
- 施工証明書 1枚

※本品は4セット入りです。
 ※普通乗用車1台分施工目安:15mL 前後

製品コード	管理No.	荷姿
5216	BF40	1セット×4/ケース
JANコード		
4979782052162		

※ここに明示された以外の詳細事項に関しては、弊社発行のSDS(安全データシート)をご覧ください。

Linda 横浜油脂工業株式会社

URL <https://www.yof-linda.co.jp>

本社 / 横浜市西区南浅間町1-1 〒220-0074 TEL (045) 313-8250 (直)

大阪 / TEL (06) 6471-1820 (直) 名古屋 / TEL (052) 855-2231 (代)
 札幌 / TEL (011) 873-4861 (代) 福岡 / TEL (092) 687-5566 (代)
 仙台 / TEL (022) 782-1720 (代)

お問い合わせは